

おひさま ニュース

2017

秋 号

10月15日発行



ホームページ

〒294-0014 千葉県館山市山本1155番地 TEL:0470-25-5111 <http://www.awairyo.jp/>

発行責任者：水谷正彦 編集責任者：根本達也



病院給食に ついて

院長 水谷正彦



入院中の食事は医療の一環であるとともに、入院患者さまにとっては一番の楽しみであり、医療を提供する上で重要な要素です。また患者さまからもご意見、ご要望を多数いただいております。今回は病院の給食についてご紹介いたします。

病院で給食を提供するためには、医師の指示のもと、管理栄養士、栄養士、調理師、調理補助者等、多くの人員が携わっています。現在、当院の栄養管理室には21名が在籍しています。さらに、品質管理、感染管理、医療安全のスタッフも協力し、配膳には看護師、准看護師、看護補助も関わっています。

当院では入院時食事療養（I）を算定しており、一食毎に保険請求がされています。以前は食事代を1日単位でいただいていたのですが、現在は1食単位でいただいています。病院に入る金額は一食640円となり、これに特別食を提供した場合は一食76円が追加されます。患者さまのご負担の大部分は医療保険で賄われます。

病院の管理栄養士は入院・外来栄養指導、健診等における栄養指導、教育的栄養指導と忙しくはありますが、給食提供も大切な業務の一つと考えています。給食では院内食堂、職員用弁当も提供していますが、その中でも一番大切なのは入院食と考えます。

最近は塩分制限が厳しくなり、どうしても薄味にするしかありませんが、出汁等で工夫し少し

でもおいしいものを提供できるよう努力しています。以前は給食部門を外部委託としていましたが、消費税アップへの対策として昨年3月に内製化し、栄養管理室として一元化しました。また内製化により、管理栄養士と調理現場の親密な人間関係が築けるように改善を図り、メニュー作成から調理までがスムーズに流れるように工夫しました。今後は食事メニューにも新しいものが加わってくるものと期待しています。

当院では、医師と、管理栄養士または栄養士が検食（栄養面・衛生面などから検査するために試食すること）をしており、患者さまからの要望と合わせ、おいしい地域の食材を使用した献立を考えています。食欲がどうしても湧かない方には管理栄養士が個別にお話を伺っていますのでご相談ください。また、現在の食事提供は急速冷却した食事を再加熱するクックチル方式を取り入れておりますが、病院の中期計画の中では、作ってそのまま提供するクックサーブ方式への変更も考えております。安房地域医療センターの給食はおいしいとの評価がいただけるよう、そして明るい笑顔で、最適な医療を提供できるよう今後も努力していきます。



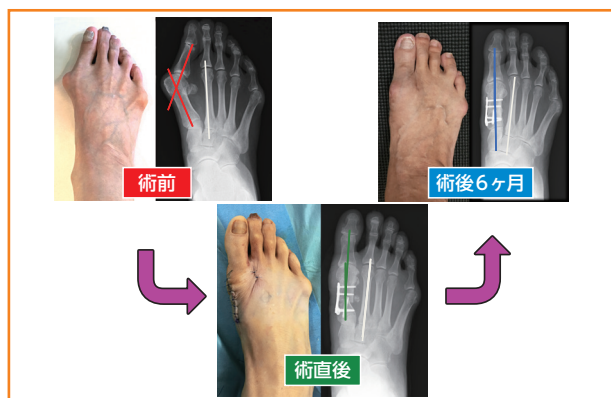
Wi-Fi 環境準備開始

当院施設内（地下1階から6階まで）のWi-Fi環境の準備を10月から始めました。年内完備の予定です。



診療科のご紹介	総合診療科	消化器科	循環器科	腎臓内科	糖尿病内分泌内科	神経内科
	小児科	リウマチ・膠原病・アレルギー内科	膠原病内科	呼吸器科	皮膚科	腫瘍内科
	外科	肛門科	整形外科	スポーツ整形	乳腺科	ペインクリニック
	救急科	透析科	泌尿器科	甲状腺外来	リハビリテーション科	

整形外科



『1,569人の子供の足を計測した結果、半数以上の54%が合わない靴を履いていた。子供の98%は健康な足を持って生まれてくる。大人の60%は足の障害で苦しんでいる。それらの障害や足の変形は、靴が小さすぎたり、大きすぎたり、トゥラインが先細りであったり、幅が広すぎたりする足に合わない子供靴を通して生じる。』

これは2000年に靴教育で有名なドイツの靴産業連盟が発表した声明です。このように世界的にも靴と足の痛みにおける密接な関係性が指摘されています。靴の脱ぎ履きがほとんどない西洋文化圏に対し、我々日本人は靴の脱ぎ履きが非常

に多い生活様式上、どうしても脱ぎ履きしやすい大きな靴を選びがちです。整形外科の足の治療には靴は重要であり、足の痛みが膝や腰の痛みの原因となります。

「外反母趾・足の外科外来」って、なんだろう？聞きなれない外来名だな・・・と感じられる方も多いと思います。この外来では痛みや靴選びでお困りの方の手助けに少しでもなれればと考えています。靴の指導とインソール(中敷き)作成といった創意工夫された治療を当施設で行います。そして残念ながら保存治療のみで対応できない方へは手術治療のご相談をしています。保存治療と手術治療の2本の柱を持った積極的な医療を提供していくことで、保存治療をご希望の方や、手術を勧められているがお悩みの方、運動時の痛みで制限をかけざるをえない方に気軽にお応えしていけるように心がけていきます。

わたなべ あつし
渡辺 淳 部長

出身地：徳島県

趣味：バスケット

房総の好きなお店：美味しいラーメン店がたくさんあるところ



Awa-café project

減塩で生活習慣病を予防しよう！

医療ソーシャルワーカー
田中典仁

今回は Awa-café project で取り組んでいる活動のひとつ、「食と健康」についての紹介です。このテーマは、減塩をしながら美味しく健康になることを目標として、医師による減塩と健康についての講話や、管理栄養士による減塩食の工夫などについてお話ししています。また、Awa-café project では、地域住民と医療者の対話を大切にしており、専門職からのお話しが終わった後は、茶話会を通し

て共に学び合う時間を作っています。

これまでに延べ64名の参加があり「健康意識が向上した」「学んだことを実行したい」などの感想をいただいています。あなたも「食と健康」に参加して生活習慣病について考えてみませんか？



臨床工学技士 (ME) ってどんな職業？

ME室
臨床工学技士 近藤敏哉



近年の医療現場では、高度な医療技術の進歩に伴い、約4,300種類の医療機器が使用されています。医療機器の高度化・複雑化が進む中、安全且つ効率的に操作するために、医学と工学の知識を持ち合わせたスペシャリストとして誕生したのが臨床工学技士（ME：メディカルエンジニア）です。簡単に言うと、院内で医療機器を取り扱う電気屋さんでしょうか。MEの制度ができたのは比較的新しく、1987年に制定され、資格取得には専門学校または大学を卒業し国家試験に合格する必要があります。

MEの業務は、生命維持管理を行う血液浄化（人工透析）、循環器治療を行う心血管カテー

テル治療や心臓機能の補助機器（ペースメーカー）点検などがあり、そのような場面で私たちを見かけることがあるかも知れません。手術室では、専門性の高い高精細な医療機器が多く使用されるため、手術の立ち会い業務も行っています。そのほかにも呼吸治療、集中治療業務、医療機器管理などがあり、治療前の準備、治療中の機器操作及び監視、治療後の点検を担当しています。

院内には医療機器を点検する場所があり、機器の修理も含め年間2,000件以上整備をしています。また、複雑化する医療機器を安全に使用していただくために、患者さまや医療スタッフに説明することもあります。

近年の医療現場では、チーム医療が重要視されています。その中で、医療機器を用いて患者さまの生命維持をサポートするMEの役割は期待されています。私たちME11名は南房総の中枢を担う安房地域医療センターで、これからも安全・安心な医療提供を心掛け、業務に努めていきます。



栄養コラム 秋のキノコとくるみのクリームスパゲティ

調理師 鈴木正人

キノコには、食物繊維やビタミンなどが含まれ、特にシイタケは、カルシウムやリンの吸収を良くするビタミンD2を多く含んでいます。くるみは紀元前から食されていたと言われ、ビタミンEを豊富に含んでいます。高カロリーなので食べ過ぎに注意です。これらのビタミンD、Eは油と一緒に摂る事で、からだへの吸収が良くなります。

くるみの歯ごたえと香り豊かなキノコスパゲティの組み合わせがとても新鮮です。

<作り方>

- ① ニンニクはみじん切り、ベーコンは1cm角に切る
- ② キノコは粗みじん切りにする
- ③ フライパンにオリーブ油をひき、①を入れて炒め、香りが出たら②を加えてしんなりするまで炒める
- ④ ③に白ワインを入れ、アルコールが飛んだら牛乳と生クリーム、コンソメ、ホワイトペッパーを入れて、弱火で約半量になるまで煮詰める（10～15分）
- ⑤ ソースを煮詰めている間にスパゲティを茹でる
- ⑥ ④に茹で上がったスパゲティを加え、よくからまったら皿に盛り付け、軽く砕いたくるみとパセリ・粉チーズ・ブラックペッパーをふりかけてできあがり



<材料 / 4人分>

- | | |
|------------------|----------------|
| ●スパゲティ…… 360g | ●マッシュルーム(小)…6個 |
| ●生クリーム…… 200cc | ●くるみ…………… 30g |
| ●牛乳…………… 250cc | ●パセリ…………… 少々 |
| ●ブロックベーコン… 80g | ●コンソメ………… 1個 |
| ●ニンニク………… 1片 | ●ホワイトペッパー…少々 |
| ●しめじ………… 1/2パック | ●白ワイン………… 40cc |
| ●まいたけ………… 1/2パック | ●粉チーズ………… 適量 |
| ●しいたけ………… 2個 | ●ブラックペッパー…少々 |
| | ●オリーブ油…… 30cc |



追跡!

一般外来 予約診療について

ご意見箱に寄せられた声の中で、様々なご指摘の多かった、一般外来予約診療についてのご案内をいたします。

当院では、**予約診療**を行っています。診察を受けられる方は、はじめての方も**受診の予約**をお願いします。

診察予約時間は

診察の時間枠です。

同じ予約時間枠に、数名の患者さまが予約をしています。同じ予約時間枠の中でも、いくつかの理由で順番がかわることがあります。

こんな場合は順番がかわります

- ・検査結果待ちの場合
- ・他の医師の診察、検査や処置などとのかねあいによる場合
- ・患者さまの症状の程度による場合
- ・診察時間が長引くことが予想される場合など、いくつかの理由で順番がかわります。

こんな表示も出ています

診察が時間枠よりも大幅に遅れている診察室のドアには、右図のような時間案内を表示しています。



予約なしで来院された場合

予約に空き状況があれば当日予約が取れる場合がありますが、待ち時間が長くなることをご了承ください。

症状によっては予約外で診察をする場合もありますが、救急外来へのご案内や、後日の予約となる場合、他院への紹介となる場合もあります。

外来診察担当医師は、院内掲示の外来診療担当医表またはホームページをご覧ください。

診察の予約・変更・取り消しの際は

☎0470-25-5121

安房地域医療センター 外来予約係

電話受付時間 8:30～17:00 月曜日～金曜日
8:30～12:00 土曜日

※日・祝日、年末年始は受け付けていません。
※耳鼻科、眼科、歯科の診療は行っていません。



大規模訓練に参加

7月29日(土)南海トラフ地震で甚大な被害が予想される三重、大阪、兵庫、和歌山の4府県で、大がかりな訓練が行われました。内閣府をはじめとする政府の機関や高速道路会社が参加し、全国のDMAT(災害派遣医療チーム)も集まりました。

当院DMATは、木村医師、大溝看護師、北條看護師、藤田業務調整員の4名編成で、対策本部が置かれている場所のひとつ、三重県桑名インターチェンジに陸路にて向かいました。その後、西日本の災害拠点施設となっている大阪医療センターで診療支援活動の訓練に参加しました。

DMATのメンバーは、このような災害訓練や隊員養成研修に参加し、実動への備えをしています。

編集 後記

秋といえば、スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋などのように、いろいろな秋で表現されます。おひさまニュースにとっては、「節目の秋」「はじまりの秋」でしょうか。2013年の創刊から5年目となり、17回目の発行を迎えることができました。ホームページでは、来院しなくてもおひさまニュースを見ることができるようになっています。

2017年5月からは、1階総合案内に創刊号から最新

号までが一覧できる棚を設置しました。最新号とあわせて、過去の号もいまだに減り続けています。当院の情報や、医療の豆知識のような記事は、年月が経ってもみなさまのお役に立っていることと思います。これからも号を重ねていけるよう、スタッフ一同がんばります。



おひさまニュース
バックナンバー

じゅんべりい